

## 週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーに  
輝きを

Vol.49 第2349回例会

2015.3.19

今年度会長テーマ

みんなで 熱く語ろう ロータリーを!!

■司会：野澤会員



■点鐘：赤木会長

■合唱：ロータリーソング  
「日も風も星も」◆ソングリーダー：  
岩原会員■お客様紹介：  
中丸パスト会長◆お客様：  
東京東大和RC  
虎井廣志様

## ■会長報告

赤木会長



皆様こんにちは。東京東大和ロータリークラブの虎井様、本日はようこそおいで下さいました。どうぞごゆっくりとお過ごし下さい。

さて昨日ベッツが開催され、相羽次年度会長が出席され、いよいよ次年度に向かって歩み始めました。今年度の大きな事業も、来週行われる東京東久留米ロータリークラブとの合同例会、5月28・29日の親睦旅行を残すのみとなりましたが、この期間、本日も来訪下さいました虎井様のように、レットトライの心で、さらなる会員増強等に取り組んで参ります。

さて、会長在任期間中、一度は税に関する話をしなければと思っておりましたので、今日はその話を致します。皆様すでにご承知の事と思いますが、平成27年度より相続税法の改正があり、遺産に係る基礎控除額が従来より60%に引下げられました。

通常言われる一次相続(夫死亡→妻・子供が相続人)で相続財産が1億円では、相続人に配偶者がいますので税負担は発生しませんが、これが二次相続の時に大きく変わって来ます。

例えば相続財産8,000万円、相続人3名の場合、旧法では基礎控除額(5,000万円+相続人一人当たり1,000万円×3人)8,000万円なので相続税は発生しませんが、改正後では基礎控除額(3,000万円+600万円×3人)4,800万円なので、課税対象額が3,200万円となり、320万円の相続税が発生します。

次に、最近株価が高くなり、株取引をされている方には大変喜ばしいことですが、所以にする中小企業等の取引相場のない株式の評価を計算する場合に、株価上昇は自社株の評価が高くなりますので、相続税法の改正と併せて自社株の相続対策にもご注意下さい。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／飯田 能士

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101  
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

## ■幹事報告

田中幹事



- ロータリー財団員会：  
2015～2016年度地区ロータリー財団委員会の案内について  
2015年6月17日(水) 15:00～  
於 ガバナー事務所
- ロータリー財団補助金委員：  
2015～16年度ロータリー財団補助金奨学生(候補)オリエンテーションおよび壮行会の案内について  
2015年5月26日(土)  
オリエンテーション 15:00～ 壮行会 17:00～  
於 上野精養軒
- ローターアクト委員会：  
ローターアクトクラブ 例会参加のすすめ  
ローターアクトクラブ 例会案内(3～5月)  
→回覧します
- 青少年交換委員会：  
青少年交換派遣学生募集について  
派遣期間：2016年7月・8月より、およそ1年間  
募集期間：2015年4月1日(水)～5月15日(金)
- 東海大学菅生高等学校：  
東海大学菅生高等学校・同中部入学式の案内の受理  
2015年4月8日(水) 10:00～  
於 高等学校体育館
- 日体桜華高等学校：  
桜華女学院中学校・日体桜華高等学校入学式の案内の受理  
2015年4月7日(火) 10:30～  
於 本校第1体育館
- 社会奉仕委員会：  
平成27年度「社協大会」の案内の受理  
2015年4月18日(土) 13:30～  
於 中央公民館 ホール
- (一財)バギオ基金：  
バギオ基金第6回臨時評議員会の開催について  
2015年5月18日(月) 17:00～  
於 弘済会館
- NPO空堀川に清流を取り戻す会：  
第36回空堀川クリーンアップ(空堀川清掃)案内の受理  
2015年4月18日(土) 9:00～12:00  
集合場所①からぼり広場②下堀公園
- 回覧：  
・ハイライト米山  
・青少年奉仕情報
- 例会変更：  
・東京板橋セントラルRC  
5月29日(金)通常例会→夜間移動例会  
・東京ベイRC 3月19日(木)通常例会→夜間例会

## ■出席報告

石山会員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
29	25	0	3	89.29

- 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：2名
- 前々回出席率メイクアップ修正後：96.55%
- 前々会メイクアップ者：  
石山会員：東京武蔵村山RC  
中條会員：地区委員会  
嶋田会員：東京清瀬RC  
當麻会員：地区R財団委員会  
相羽会員：P E T S

## ■ニコニコBOX

西川会員



- ◆虎井様：今日はお世話になります。4月11日(土)にあるワクワクフェスタのご案内をさせて頂きたくまいりました。宜しくお願い致します。
- ◆赤木会長、田中幹事：  
東京東大和ロータリークラブの虎井様、本日はようこそおいで下さいました。どうぞごゆっくりとお過ごし下さい。中丸ロータリー情報委員長、野村会員、本日の卓話宜しくお願い致します。
- ◆野崎会員：来月が雑誌月間ですが、卓話スケジュールの関係上、今月に前倒しました。中丸委員長、野村会員よろしくお祈りします。
- ◆野村(高)会員：  
東京東大和RC虎井様ようこそお越し下さいました。今日は研修委員長と2人で卓話です。内容が被る所がありますがよろしくお祈りします。
- ◆岩原会員：入会を認めて頂きありがとうございます。前回はお休みしましたので、初めての例会です。今後共、よろしくご指導の程お願い致します。

本日のニコニコ合計： 12,500円  
累 計： 1,258,500円

## ■ P E T S 報告

### ■ 相羽次年度会長



次々回の例会で発表させて頂きます。

## ■ お客様挨拶

### ■ 東京東大和 R C 虎井廣志様

PRに来ました。昨年ロータリー財団の地区補助金を使用して劇団を立ち上げました(傘地蔵)。

紙芝居で良くやりますが当クラブは、劇で行いました。さわりを少しお聞きください(笑)

大和富士幼稚園で行います。当クラブの(傘地蔵)宜しくお願い致します。

## ■ 委員長報告

### ■ 飯田クラブ管理委員長



5月28日(木)・29日(金)に予定をしています親睦旅行は、Aプラン(天成園)に決定しました。現在34名の会員様に出席を頂いています。

当日は、東村山駅に集合⇒アサヒビール工場見学⇒岡田美術館(歌麿 深川の雪)⇒天成園(宿泊)。

翌日は、ゴルフ部・歩こう会に分かれて箱根の1日を楽しみましょう。

バスは、トイレ付の大型バスです。皆様宜しくお願い致します。

## ■ 卓話

### ■ 卓話者紹介： 野崎パスト会長



### ■ 卓話者： 中丸会員研修委員長



### 雑誌月間因んで

『ロータリーの友』は、国際ロータリー(R I)の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス(『THE ROTARIAN』とロータリー地域雑誌の総称)の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。

### ■ 新しい雑誌の発行が決定

1952(昭和27)年4月、第60地区の大会が開催されました。同年7月に迎える新年度(1952-53年度)から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていきましたので、主催者も参加者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として、企画されたのです。

第1回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナーと露口四郎氏(共に大阪ロータリークラブ)が幹事役となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開催されました。



1953年1月号  
創刊号

### ■ 『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953(昭和28)年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で、横書きが採用されることになりました。戦後10年もたっていないなかったという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えをもっていたかを知ることができるエピソードです。

岐阜での会合で、広告を取ることが決定したものの、当初は発行部数が3,300部にすぎなかったこと、また、戦後の混乱が少し落ち着いたというもの、まだまだ経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサーを見つけることは容易なことではありませんでした。創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦労して広告を取ったという逸話が残っています。

創刊号の富士山の表紙は、その後、『ロータリーの友』にも、何回か写真を載せましたので、ご存じの方も多いと思いますが、実はこの表紙、1月号から6月号まで、絵柄は全く同じものでした。北斎の『凱風快晴』という題の作品です。ちなみに、8月号から9月号は、広重の『舞子の濱』という作品で、表紙の写真や絵が毎月替わるようになったのは、創刊翌年の4月号からです。毎月同



じ絵柄の表紙とはいうものの、それぞれの色が随分違っていているのは、デザインでしょうか、当時、カラー印刷の技術が進んでいなかったためでしょうか。



1972年1月号  
(縦組みと横組みが分かれた最初の号)

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。ページを開いていくと、横書きの中に、突然縦書きのページが出てきて読みにくいという読者の声を受けて、1972(昭和47)年1月号から、左に開けると横書き、右に開くと縦書きの現在のような雑誌の形になりました。このときの表紙は、陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

#### ■国際ロータリー公式地域雑誌に

1977年、標準ロータリークラブ定款第10条(現14条)の改定に伴い、公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー(RI)の機関誌『The Rotarian』だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。

『ロータリーの友』は、1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号からRI公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。

要件の一つに、「毎年、年度の始まる7月号の表紙には、国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載する」ということがあります。試験期間の始まった1979年の7月号が、RI会長の写真を表紙に掲載した最初です。したがって、日本で2人目のRI会長である向笠廣次氏(1982-83年度)は、表紙になっていますが、それ以前にRI会長に就任した東ヶ崎潔氏(1966-67年度)は、RI会長としては、残念ながら表紙に載っていません。ただし、それより早く、ガバナー時代の1957(昭和32)年8月号に、ほかのガバナーとともに登場しています。ご存じの通り、今年度は日本から30年ぶり3人目のRI会長の田中作次氏ですが、昨年7月号の表紙に、夫妻の写真が掲載されました。

#### ■カラフルに、ビジュアルに

はじめ、表紙以外はモノクロでしたが、1986(昭和61)年から、「ロータリー・アット・ワーク」(横組み写真のページ)のトップの取材ページ(当時は同欄の2~3ページが取材記事)をカラーに、縦書き、横書きの巻頭各8ページを2色刷りにしました。写真のページをカラーにし、2色刷りのページを入れると、当然印刷費は高くなりますが、この費用を捻出するために、用紙の厚さや種類を変更して用紙代を節約するなどの工夫をしています。

時代の変化に合わせ、カラーページも増えてきましたが、2003年7月号からはすべてのページをカラー印刷にしました。この時は、編集工程を見直すことによって、コストをそのままに、全ページのカラー化を実現することができました。

写真を多く、そして大きく扱うようになりました。デジタルカメラの普及により、投稿写真がデジタルデータで送られてくるようになりました。編集スタッフの取材写真もフィルムからデータへ。そのおかげで、写真やフィルムをスキャンするコストがほとんどかからなくなり、写真をふんだんに使えるようになりました。

#### ■50周年を迎えて

2003年1月に創刊50周年を迎えるに当たり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい50年のスタートにふさわしい新鮮な『ロータリーの友』にするにはどのようにすればいいのか、2001年秋から検討に入り、年度初めの2002年7月号から誌面を一新しました。

サイズをB5判(天地256ミリ×左右182ミリ)からA4変型判(天地280ミリ×左右210ミリ)に変更。カラー写真のページを巻頭にもってくるなどして、親しみやすい『ロータリーの友』を目指しました。この時、用紙もカラー写真がきれいにできるように、それまでより白い紙に替えました(2006年7月号からは、さらに白い紙に変更)。

2002年7月、サイズの変更と合わせて、事務所内でのコンピューター編集に切り替えました。このことによって、それまでより自由な誌面づくりができるようになりました。

「ロータリー地域雑誌」の要件の一つに『The Rotarian』から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。写真を郵送していた頃には同時掲載は不可能でしたが、IT技術の進歩に伴い、2004年1月号からは、これらの指定記事が『The Rotarian』と同じ月に掲載できるようになりました。

記事についても、毎年度見直し、新しいコーナーを設ける一方で、古いコーナーを中止したりしています。2004年11月号からは、毎月一人ずつのロータリアンを紹介する「風紋」がスタートしました。外部の記者とカメラマンによる取材記事は、それまでになかったことで、ロータリアンやロータリーを客観的に見た記事によって、あらためてロータリーの良さを知る機会にもなっています。その後、クラブを紹介する「手に手」クラブ探訪、ロータリアンを職業の面から紹介する「この人 この仕事」と、少しずつ形を変えながら、このシリーズは続いています。

#### ■新しい時代の波

50周年を迎えるために『ロータリーの友』をリニューアルしようと企画を立てていたときに出てきたのが、新しいメディアのインターネットとどのように共存、住み分けをするかということでした。そこで、『ロータリーの友』のホームページを開設して、インターネットというメディアにふさわしいコンテンツを入れ、印刷媒体の『ロータリーの友』との共存、住み分けを図り、日本のロータリアンの皆さまにより早く、より幅広く、より便利に情報を届けようということが決まりました。

それに従って、2003年7月1日、『ロータリーの友』ホームページを開設しました。ここでは全国のロータリー



2002年7月号

クラブの例会一覧表、国際大会や国際協議会の速報、さらには、ロータリーの基礎知識的な資料を提供してきました。2006年秋、ガバナー会から rotary.or.jp のドメインが移譲され、ロータリーの友委員会で検討を重ねた結果、名称を『Rotary Japan』に変更、内容や画面をリニューアルして、2007年3月から新しい名前で情報提供をしています。

2010年4月に開催された規定審議会の採択によって、アメリカとカナダのロータリアンは、これまでの印刷版だけでなく、電子版で『The Rotarian』を受け取ることができるようになりました。電子版の雑誌を発行している地域雑誌も、いくつか出てきました。

本年4月に開催される規定審議会では、『The Rotarian』以外の雑誌も電子版で受け取るような立法案の採択が予想されています。

『ロータリーの友』でも、現在、電子版の発行準備を進めています。いくつかの課題があります。電子版の特性に合わせたコンテンツを見直し、印刷版を受け取っているか電子版を受け取っているかで情報の格差が出ないようにすること、購読料の支払い方法などです。

印刷版であろうと、電子版であろうと、会員がロータリーに関する最新の情報を入手し、また、ロータリーの基本を学び、さらには、情報交換をするということは、変わることがないようにと考え、電子版をどのようなものにするのか、検討を重ねています。

『ロータリーの友』は創刊60周年を迎えましたが、これからも日本のロータリアンの役に立つ情報を伝え、親しまれる雑誌として歴史が刻まれていくよう、努力を続けたいと考えています。

■卓話者：  
野村(高)会員研修  
副委員長



雑誌月刊について  
(ロータリーの友編集内容)

■1ページ：下

2015年3月号は95,200部、定価は200円+消費税、1953年創刊時は50円でした。

東京東村山RCの定款第14条にあるように、「各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認並びに指定されているロータリー地域雑誌(ロータリーの友)を購読しなければならない。」と明記されています。これはロータリアンの三大義務である「出席・会費納付・雑誌の購読」の一つであります。ちなみにRIの機関誌は「THE ROTARIAN」でアメリカ・イリノイ州エバンストンにあるRI本部で発行されている英語の公式雑誌で約50万部です。



■2ページ：上

1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号から、「ロータリーの友」は、国際ロータリー(RI)の公式地域雑誌になりました。現在は、この呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」と呼んでいます。RI本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌「The Rotarian」と、31の地域雑誌を合わせて、「ROYARY WORLD MAGAZINE PRESS」と言います。

■2ページ：下

「ロータリーの友」では、この掲載義務のある記事をRI指定記事と呼んでいます。指定記事には、それだとわかるように、記事のタイトル周りには上のロゴをそして、目次には下のロゴを入れます。指定記事以外にも、「The Rotarian」からの記事を転載する事がありますが、その場合には「The Rotarian」●月号からとだけ入れ、このロゴは入っていません。

■3ページ：上

2008-09年度から、RI指定記事として「Global Outlook」が加わりました。毎年11・2・5月号に挿入されています。「ポリオ撲滅」「識字率向上」などの国際ロータリーで力を入れている活動や、「ソーシャルメディア」「ロータリーの公共イメージの向上」などテーマ別に、幅広く特集が組まれています。



■3ページ：下

毎年8月号に掲載していた「ロータリーの基礎知識」が、去年から「ロータリーを再発見。奉仕と友情の輪を広げよう」に変わっています。この記事は国際ロータリーが打ち出した新しいブランドイメージに即したロゴや誌面デザインを取り入れた最初の記事です。「Global Outlook」と同様、こだけ取り外して保存することが出来るように、「ロータリーの友」誌の真ん中に掲載しています。

■4ページ：上

ロータリーの最新情報を新会員にもわかりやすくお知らせするコラムです。2013年8月号から始まりました。

■4ページ：下

2011年3月11日の震災直後から始めた「心は共に」は4年を迎えました。「心は共に」というタイトルは、震災直後に海外から「ロータリーの友」宛てに送られてきたお見舞いや支援したいという申し出のメールの殆どが「遠く離れていても、私達の心は日本の皆様と共にあります」と結ばれていたことから、これをタイトルにしたものです。これからも震災関係の記事を継続して掲載し続けます。



■5ページ：上

縦組みのこのコーナーは、ロータリアン個人、ロータリークラブと、約3年ごとにテーマや対象を変えて続けています。去年から始まったシリーズのテーマは「町」です。地方の町が元気がないとされていますが、その中で色々工夫して頑張っているところを取り上げ、地元のロータリアンに案内してもらおう形で、プロのライターとカメラマンが取材し、記事にしています。どこの町のどのような話題を取り上げるのか、主に地元の情報に詳しいロータリーの友地区代表委員からの情報提供に寄って取材先を決めています。



■5ページ：下

現在横組みには、ロータリーの特別月間に関する特集、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載しています。RI指定記事は横組みに入っています。縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる記事を掲載し投稿が中心です。



#### ■ 6・7ページ

知らない人達が並んでいるだけの写真は、読者の興味を引きませんので、原則として記念写真・集合写真は掲載していません。

#### ■ 7ページ：下

「ロータリーの友」は一般社団法人ロータリーの友事務所で制作し、販売しています。ロータリーの友委員会は、ロータリーの規定で設置を義務付けられたものです。社員、理事、監事は全員ロータリアンです。理事は職員の指導をしたり、管理をしたりしています。ロータリーの友委員会のメンバーは、「ロータリーの友」横組み目次ページに、一般社団法人ロータリーの友事務所の社員・理事並びに職員は、奥付(日本地図のあるページ)に掲載しています。ロータリー地域雑誌には、委員会を設置することが、国際ロータリーの規定で決められています。ロータリー友委員会は、その規定に基づいた委員会で、「ロータリーの友」に付いての一般的な指導監督の役割を担っています。

#### ■ 8ページ：上

「Rotary Japan」という名前で、ホームページを開いています。ロータリアン以外の人々に、ロータリーを知っていただくために、コンテンツページを構成しています。日本国内全クラブの例会一覧が載っています。ホームページを開いているクラブは、その例会一覧にリンクしてありますから、メークアップの際に事前にどの様なクラブか調べていくと、そのクラブの方々と会話が弾むでしょう。

#### ■ 8ページ：下

2013年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会で、アメリカとカナダ以外のロータリアンも、印刷版と電子版の選択が出来るようになりました。アメリカとカナダは2010年4月の規定審議会で選択が出来るようになっていました。それに伴い「ロータリーの友」は2014年1月から電子版の配信を開始。現在は試験段階で印刷版と電子版の選択は出来ませんが、国際ロータリーの規定に従って、選択が出来るように準備を進めています。ご覧頂くにはIDとパスワードを入力する必要があり、IDとパスワードは各クラブに郵送でお知らせしました。



#### ■ 9ページ：上

各クラブや地区で広報への関心が高まっていますが、広報に使える冊子が何か欲しいと言う声に応じて公報誌「Rotary 世界と日本」を創刊2009年以降は毎年8月にアップデートしています。A5版16ページの小冊子で10冊1セットで本体価格500円+消費税。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会や地域でのイベントの際に配って下さい。



#### ■ 9ページ：下

2009年8月「会員勧誘用」として、「ROTARY あなたも新しい風に」を2009年に創刊。その後毎年8月にアップデート。B5版12ページの小冊子で本体価格400円+消費税。

#### ■ 10ページ

「ロータリーの友」はロータリアンの活動や意見から成る雑誌です。奉仕活動をされたら是非原稿を送付して下さい。より良い「ロータリーの友」にするために、皆様のご協力をお願いいたします。

※ロータリーの特別月間が変わります!!の記事をご記憶でしょうか? 去年の10月開催のRI理事会で大きく変更され「雑誌月間」と「ロータリー理解推進月間」が今年の新年度7月号から変更され無くなりますが、是非記事の中身をご理解の上購読して下さい。

■ 閉会点鐘：赤木会長